

地域循環共生圏づくりプラットフォーム 協力専門団体一覧

※令和3年6月30日時点

No.	分類	分野	協力専門団体名称	ホームページ	支援メニュー				その他役員費等	資格・経験等	
					メニュー番号	概要	具体的な支援内容	推奨される支援対象			所要時間目安
1	ツーリズム	ツーリズム	公益社団法人 日本環境教育フォーラム (JEEF)	http://www.jeeff.or.jp/	1-1	調査	個別の地域で利用可能な環境資源探索調査支援	・ツーリズムの場所、素材を探している団体	適宜対応	適宜対応	—
					1-2	人材育成	環境教育の現場に立つ指導者養成、国立公園満喫プロジェクト人材支援、eラーニング教材作成	・ツーリズムを実施したいが特定の人材群を有していない団体	半日～数日	半日4万円、1日8万円程度、準備が必要な場合は別途相談	—
					1-3	研修・講師派遣	市民講座等への講師派遣、指導者養成講座への講師派遣	・ツーリズムを実施を検討している団体	半日～数日	—	—
					1-4	ファシリテーション	KP法、えんたくんを活用したファシリテーション実施	・環境や地域づくりに関する研修や合意形成の場でのファシリテーション	1時間～	—	—
2	ツーリズム	ツーリズム	一般社団法人 日本エコツーリズム協会 (JES)	https://ecotourism.gr.jp/	2-1	保険	エコツアー向け保険	エコツアーの主催者	要相談	適宜対応	会員様向けのサービスとなります。
					2-2	表彰・推奨制度	優れたエコツアーを表彰する「エコツーリズム大賞」(環境省共催)の開催、おすすめツアーを認定するグッドエコツアー推奨制度	エコツーリズム推進の取り組みを進める実践者、エコツアーの主催者	要相談	—	—
					2-3	人材育成	エコツーリズム人材の育成講習会の開催、シンポジウム等の開催	エコツーリズムの推進のための特定の人材群を有していない地域、団体、ならびにエコツーリズム推進の取り組みを進める地域、団体	要相談	—	—
					2-4	有識者、専門家派遣	エコツーリズム推進に関する計画策定、アドバイス、講演等	エコツーリズムの推進のための特定の人材群を有していない地域、団体	要相談	—	—
					2-5	調査	エコツーリズムに関する消費者ニーズ調査、各種認証制度・ガイドライン等の調査、資源調査	エコツーリズム推進の取り組みを進める地域、団体	要相談	—	—
3	ツーリズム	ツーリズム	NPO法人エコツーリズムセンター	https://ecocen.jp/	3-1	安全講習会とエコツアー保険	安全講習会、リスクマネジメント講座、エコツアー保険	グリーンツーリズムの導入を進める実施者	内容に応じて適宜対応	適宜対応	エコツアー保険は加入の条件があり、野外でのプログラム実施経験が3年以上となります。
					3-2	研修	エコツアーに関する地域ブランディング、国際認証、安全講習等の研修・ワークショップの開催	グリーンツーリズムの導入を進める実施者、地域住民	内容に応じて適宜対応	適宜対応	—
					3-3	事業化支援	持続可能な観光地域づくりマネジメント、伴走	グリーンツーリズムの導入を進める実施者	内容に応じて適宜対応	適宜対応	—
					3-4	認証支援	GSTC国際認証トレーニングプログラムの実施、登録支援	サステナビリティの国際基準を目指す、グリーンツーリズム実施者(自治体との協働が望ましい)	内容に応じて適宜対応	適宜対応	—
4	ツーリズム	ツーリズム	一般社団法人 全国農協観光協会	https://www.znk.or.jp/lineup2016/	4-1	交流事業	農村と都市の交流プログラムの実施	・ツーリズムの導入を進める実施者 ・ツーリズムを支援する地方公共団体	プログラムによる	適宜対応	—
					4-2	研修・講師派遣	旅程管理研修、旅行サービス手配業務取扱管理者研修会等の実施、農泊に関連する自然・農林体験活動における研修会・セミナー開催	・ツーリズムの導入を進める実施者 ・ツーリズムを実施したいが特定の人材群を有していない団体	プログラムによる	適宜対応	—
					4-3	事業化支援、コンサルティング	グループの(株)農協観光がエコツーリズム支援事業として実施	・ツーリズムの導入を進める実施者	内容による	適宜対応	—
5	ツーリズム	ツーリズム	NPO法人日本ヘルスツーリズム振興機構	http://www.npo-healthtourism.or.jp/	5-1	研修・講師派遣	ヘルスツーリズムに関する講演、講師派遣 事業立ち上げの企画、助言活動	・差別化された、付加価値の高いヘルスツーリズムの導入を目指す実施者 ・ヘルスツーリズムを実施したいが特定の人材群を有していない団体	プログラムによる	内容に応じて適宜対応	—
					5-2	事業化支援、コンサルティング	事業立ち上げの企画、コンサルティング	・ツーリズムの導入を進める実施者	内容に応じて適宜対応	内容に応じて適宜対応	—
					5-3	表彰・推奨制度	ヘルスツーリズム大賞。ヘルスツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取り組みを表彰する	・差別化された、付加価値の高いヘルスツーリズムの導入を目指す実施者	—	—	—
6	ツーリズム	ツーリズム	一般社団法人 日本ファームステイ協会	https://jpcsa.org/	6-1	調査	地域資源調査、旅行者ニーズ調査	・ツーリズムの場所、素材を探している団体	応相談	—	—
					6-2	事業化支援、コンサルティング	農泊に関する経営、マーケティング、施設運用など複合的な観点から様々な課題解決支援	・ツーリズムの導入を進める実施者	応相談	—	—
					6-3	研修・講師派遣	農泊全般、マーケティング、ビジネスプラン、コンテンツ開発、経営など多様なメニューで対応	・ツーリズムの導入を進める実施者 ・ツーリズムを実施したいが特定の人材群を有して	応相談	—	—
					6-4	認証制度	ファームステイに関する国際レベル認証取得支援	・差別化された、付加価値の高いツーリズムの導入を目指す実施者	応相談	—	—
7	ツーリズム	野外活動	野遊びリーグ	https://noasobi.jp/	7-1	普及啓発・指導者育成	野遊びに関する普及・進行・指導者養成・研修会	・野外活動のプログラム構築を目指す者	—	—	—
8	農林水産業	農産物	一般社団法人 食農健康	http://shokunouken.jp/	8-1	調査	市場調査、マーケティング	・市場調査、FS調査を実施したい者	内容に応じて適宜対応	内容に応じて適宜対応	—
					8-2	コンサルティング	物販に関する課題抽出、実施計画立案、商品開発手法、マーケティング手法、マネージメント手法等の事業化実現のために必要な作業の費用、スケジュール作成等の支援	・農産物販売事業化の計画段階の者 ・差別化された農産物の開発を目指す者	内容に応じて適宜対応	相談は無償で実施している。コンサルティングは内容に応じて適宜対応	—
					8-3	事業化支援	プロジェクトチームの立ち上げ、課題抽出、マーケティング、事業計画の策定など総合的にサポート	・事業化実施段階の者	内容に応じて適宜対応	内容に応じて適宜対応	—
9	農林水産業	農産物	一般社団法人 地方創生サポート協会・栄塾	https://www.sakaekajuku.jp/	9-1	商品開発と販路開拓支援	・地域循環型市場構築のマーケティング支援。 ・競合・市場調査、消費者・流通業界動向調査 ・戦略構築。商品企画立案、販路開拓、販売戦略	・商品開発や事業計画を目指す者 ・市場調査をしたい者	0.5日～	一回当たりの基本料金。半日コース⇒3万～5万円1日コース⇒5万～8万円。地域・支援内容により異なります。	—
					9-2	研修・講師派遣	・マーケティング手法に基づく商品開発と販売戦略 ・無印良品の販売戦略。消費者はこんな商品を求めている。 ・助成金と事業計画・申請書の書き方ワークショップ研修	・農産物生産や6次産業化に向けたキャパビルを希望する者 ・キャパビルを支援したい者	プログラムによる	講演研修は2時間基本10万円 個別支援やワークショップなども希望される場合は別途相談。予算に限りある場合は要相談	—
					9-3	事業支援	・6次化推進協議会、6次化成功事例調査、地域資源調査。 ・6次産業化の具体的な進め方、・売上計画作成、JGAP 農業生産管理・仕様書、納入条件・販路開拓リスト、宣材	・市場調査、FS調査を実施したい者 ・全般的な相談をしたい者 ・より詳しい相談者の斡旋を希望する者 ・経営診断を希望する者	プログラムによる	一回当たりの基本料金。半日コース⇒3万～5万円、1日コース⇒5万～8万円。地域・支援内容により異なります。	—
					9-4	資格認定	・食の6次産業化プロデューサー(食プロ)資格認定講座 ・6次化制度や具体例、支援の流れと体験学習。 ・食プロレベル3認定取得研修・6次化総合事業計画書 ・レベル4、専門家認定、プロレベルチャレンジコース	・6次産業化のプロフェッショナル人材を目指す者	プログラムによる	・6次化研修は1回10万円。産学とワークショップで4回シリーズ・食プロ講座は10回で一人13万円1日6時間×10回、土曜・日曜開催	—
					9-5	資格等取得支援	・CSRに基づく事業化戦略立案、まちづくり/観光/環境/福祉連携事業、組織モデル、エシカル環境士資格取得研修。 収益モデル、理念経営の取組み方、SDGs成功事例	・資格等の取得、認定を目指す者	プログラムによる	・SDGs研修は1回10万円。産学とワークショップで4回シリーズ・環境エシカル経営士取得講座は10回で一人10万円土曜・日曜開催	—
					9-6	コンサルティング	・事業承継に向けた経営改善、社内体制づくり、経営診断⇒課題、原因究明。SWOT分析。 ・4P戦略、経営理念・商品開発・販売計画・資金計画・返済計画・行程表、経営革新申請	・農産物販売事業化の計画段階の者 ・差別化された農産物の開発を目指す者	0.5日～	一回当たりの基本料金。半日コース⇒3万～5万円1日コース⇒5万～8万円。地域・支援内容により異なります。	—

地域循環共生圏づくりプラットフォーム 協力専門団体一覧

※令和3年6月30日時点

No.	分類	分野	協力専門団体名称	ホームページ	支援メニュー				その他役員費等	資格・経験等	
					メニュー番号	概要	具体的な支援内容	推奨される支援対象			所要時間目安
10	農林水産業	農産物	一般社団法人 食農共創プロデューサーズ	https://www.6ji-biz.org/about_facp.html	10-1	戦略策定支援	食や農をとおした地域活性化やブランディングの戦略・ビジョン等の策定支援	・都道府県、市町村、地域の公的セクター、協議会等	1日～	日単位で派遣。6-10万円/日程度	-
					10-2	事業化支援	商品開発、事業計画、市場調査、販路開拓などの支援	・商品開発や事業計画を目指す者 ・市場調査をしたい者	1日～	日単位で派遣。6-10万円/日程度	-
					10-3	研修・講師派遣	セミナー研修会、イベントの企画・運営、教育研修の実施、講師派遣	・農産物生産や6次産業化に向けたキャパビルを希望する者 ・キャパビルを支援したい者	1日～	日単位で派遣。6-10万円/日程度	-
11	農林水産業	ジビエ	一般社団法人日本ジビエ振興協会	http://www.gibi.or.jp/	11-1	国産ジビエ認証取得に係るサポート	「国産ジビエ認証制度」の認証とそのサポート、認証を目指す処理加工施設や自治体に対する講習会の実施	・「国産ジビエ認証制度」の取得を目指す者（ジビエ処理加工施設・自治体）	内容に応じて適宜対応	相談は無料に対応。その他は内容に応じて適宜対応	-
					11-2	ジビエイベントへの講師派遣等	ジビエの普及イベント等における講師派遣。講演のほか、座学や調理実演・参加者による調理実習、試食イベント等	・ジビエの活用について検討段階の個人・団体・自治体	内容に応じて適宜対応	内容に応じて適宜対応	-
					11-3	研修・講習会	・HACCP講習会の企画・運営 ・「解体処理講習会」の実施 ・「ジビエ料理講習会」の実施	・ジビエの活用について検討段階の個人・団体・自治体 ・ジビエについての理解を深めたい者	内容に応じて適宜対応	内容に応じて適宜対応	-
					11-4	メニュー・商品監修	ジビエ料理のレシピの提案、ジビエの商品開発・メニュー監修	・ジビエを活用した商品開発を行いたい者	内容に応じて適宜対応	内容に応じて適宜対応	-
12	農林水産業	オーガニック	次代の食と農を作る会	https://www.jidainokai.com/	12-1	事業化支援	地産地消・少量多品種を軸とした持続可能な地域オーガニック産地の形成のための生産や物流の支援	・既存の形態にとらわれない新しい農業経営を目指す者	内容に応じて適宜対応	内容に応じて適宜対応	-
					12-2	販路開拓	生産物の販路開拓支援	・既存の形態にとらわれない新しい農業経営を目指す者	内容に応じて適宜対応	内容に応じて適宜対応	-
					12-3	人材育成	有機農業の専門家による有機農業研修講座の実施	・既存の形態にとらわれない新しい農業経営を目指す者	1講座90～120分、10万円程度、地域毎の要望に応じて講演、研修（内容・テーマ・回数）は相談可能。開催において回数制限なし。	内容に応じて適宜対応	-
13	農林水産業	林業	特定非営利活動法人 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会（略称：自伐型林業推進協会）	https://zibatsu.jp/	13-1	自伐型林業研修・人材育成（林業担い手育成）	広大な森を活用して多数の就業を創出し、環境共生型の持続的森林経営を現実化させる人材育成の展開 ・地域広報のためのフォーラムやセミナー開催 ・自伐型林業研修 ・体験研修：地域等の担い手掘り起し	地域就業創出を目指す地方自治体（県・市町村等） 自伐型林業展開・普及を目指す民間団体・企業・個人 中山間地域再生を目指す民間団体・企業・個人	内容に応じて適宜対応	-	-
					13-2	長伐期多間伐林業による持続的森林経営となる「モデル林」づくり、及び実施	・モデル林づくり：自伐型林業者が実施すると、どんな森になり、どんな実施するのか、また土砂災害や環境共生させる手法を地域に示す（一般公開する） ・実施展開（委託等） ・長期的に多間伐林業を実際に展開	地域就業創出を目指す地方自治体（県・市町村等） 自伐型林業展開・普及を目指す民間団体・企業・個人 中山間地域再生を目指す民間団体・企業・個人	内容に応じて適宜対応	-	-
					13-3	地域活性化・地方創生コンサルティング	・中山間地域の広大な森での就業創出の事業化 ・自伐型林業を核にした、一次産業の組み合わせによる生業の再構築等で、地方創生事業等のコンサルティング	地方創生を目指す、地方自治体や企業	内容に応じて適宜対応	-	-
					13-4	調査・研究・開発・林業事業	・自伐型林業展開のための山林調査 ・自伐型林業を組み込んだ地域システムの研究・開発 ・木質バイオマス利用のための収集システム構築 ・持続的森林経営のための林業事業の開発・バージョンアップ	地方自治体 各分野の研究所・シンクタンク 山林所有企業や管理組合 木質バイオマス展開企業	内容に応じて適宜対応	-	-
					13-5	講師派遣・個別相談	・自伐型林業や地域再生等の講演会やフォーラムへの講師派遣、林業研修への講師派遣 ・林業実践者や中間支援者、行政に対する個別相談	講師派遣や相談を受けたい団体や個人	講演会：5万円以上、研修講師：3万円以上、個別相談は無料が基本（要相談）	-	-
					13-6	自立化支援・地域推進団体立上げ支援	・自伐型林業実践者の自立に向けた支援 ・自伐型林業の中間支援団体の運営支援	個人や地域団体	内容に応じて適宜対応	-	-
					13-7	広報動画・マーケティング支援	・地域への普及や理解を促すための広報ツールの作成	地方自治体や地域推進団体、企業等	内容に応じて適宜対応	-	-
14	交通	バリアフリー	公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団	http://www.eco.or.jp/index.html	14-1	バリアフリー推進	鉄道駅、旅客船等におけるバリアフリー施設の整備の推進や高齢者や障害のある方々が安全かつ快適に移動できる交通システムの実現のため、関連する施設整備に対する支援、啓発活動、情報提供や調査研究	・都市計画、交通計画の政策担当者	内容に応じて適宜対応	内容に応じて適宜対応	-
					14-2	交通環境対策	持続可能な環境・省資源型社会を実現するための交通システムの推進を目指して環境負荷の少ない事業運営の取り組みであるグリーン経営認証制度等の普及	・公共交通の環境負荷低減に関心のある自治体の都市計画、交通計画の政策担当者	-	-	
15	インフラ	グリーンインフラ	一般社団法人 日本建設業連合会	https://www.nikkenren.com/dobaku/green_infra	15-1	グリーンインフラ等の情報提供、普及啓発	傘下企業によるグリーンインフラ工事の事例紹介や普及啓発用資料の提供	・河川の氾濫、津波・高潮をはじめとする自然災害のリスクが高い自治体	-	-	
16	メディア	メディア	NPO法人 グリーンズ	https://greenz.jp/	16-1	研修・講習会	「グリーンズの学校」として、地域通貨、ファシリテーション、編集・執筆技術を取り入れるメソッドを提供するクラスを運営しています。授業を通して学びを得るだけでなく、ほしい未来づくりに取り組む仲間との出会いの場にもなっています。	・地域づくりやコミュニティ形成に係る人材を目指す者。	内容に応じて適宜対応	-	-
					16-2	相談・コンサルティング	企業・自治体・学校とともに、「いかにあつながり」「ほしい未来を自分でつくる」とは何か、探求するプロジェクトを展開。主にウェブ上での共同企画の連載、ワークショップ・イベントの開催を取り組んでいます。	・多様な主体による協働取組に関心のある者。	内容に応じて適宜対応	-	-
					16-3	コミュニティ・相談	非営利メディアである「greenz.jp」をコミュニティによる原資で運営するために始めた「greenz people」。現在は、メディア運営のパートナーという関係から、暮らしをつくる力を取り戻し、手を取り合っただけで人間の社会的なつながりという志を持つ人々がつながるためのコミュニティとなっています。会員限定のイベントやスクール・プログラム、書籍も提供しています。	・コミュニティ醸成を目指す者。	内容に応じて適宜対応	-	会員向けサービス
17	金融	ファンディング	本ファンディング協会	https://www.fra.jp/	17-1	資格認定・取得支援	認定ファンレイザーの認定試験の運営と、資格取得のための研修プログラムの実施	・ファンディングに関する専門的な技術を習得したい者	准認定ファンレイザー 資格試験は年2回、認定ファンレイザー資格試験は年1回実施	必修研修 一般：15,000円+税、会員：10,000円+税 選択研修の受講費用は研修によって異なります。	資格を取得する際には、当協会の会員になっていただく必要があります。
					17-2	研修	社会貢献教育ファシリテーター育成のための研修プログラムの実施	・ファシリテーターを目指す者	年5回程度。1回5時間。会員6000円、非会員10,000円	-	-
					17-3	講習会・講師派遣	ファンディングに関する講演	・ファンディングに関する全般的な知識を学習したい者	金額については、当協会までご相談ください。	-	-